

# 公開講演会

来聴歓迎

主催：早稲田大学日本宗教文化研究所  
共催：早稲田大学文化構想学部多元文化論系  
早稲田大学多元文化学会

北京大学歴史学系

井上亘教授

講演会

## 漢字文化とはなにか 古代東アジア情報技術史研究・序説

司会：吉原浩人（早稲田大学日本宗教文化研究所所長）

日時：2014年1月23日（木）午後2時45分～4時45分

場所：早稲田大学戸山キャンパス33号館3階第一会議室

井上亘教授は、中国で初めて中国語で日本古代史を教える教員として、また北京大学二人目の外籍専門家ではない日本人専任教授として、御活躍中です。日本古代の朝廷政治と儀式についての博士論文を出版されましたが、その後中国古代の出土文献学・音韻学に専門を広げられ、現在は中日双方の歴史学界で御活躍中です。今回は、北京大学出版社より刊行予定の御著書の内容について、学生にもわかりやすい御講演いただきます。事前のお申し込みは必要ありません。どなたでもふるって御来場ください。

井上亘（いのうえ・わたる）

1967年生まれ。北京大学歴史学系教授。博士（史学）。学習院大学大学院文学研究科博士課程修了。立教大学・早稲田大学・明治学院大学等講師を経て、2006年南開大学（天津市）日本研究院外籍専門家、2008年北京大學歴史学系客員教授、2009年より現職。著書に『日本古代朝政史の研究』（吉川弘文館、1998）、『日本古代の天皇と祭儀』（同）、『虚偽的“日本”』（社会科学文献出版社、2012）。他に論文多数。

※講演会終了後、午後5時30分より懇親会を行います。会場未定。会費4,000円程度。  
懇親会に御出席いただける方は、予約の都合上、1月14日（火）夜までに、下記メールアドレスまでお知らせ下さい。

（吉原浩人）yoshi-w@qa2.so-net.ne.jp